要　望　書

物流対策の推進について

国道３号 宇城～八代間の機能強化

八代市岡町谷川　興善寺交差点付近の渋滞状況

令和７年７月

熊 本 県 八 代 市

国道３号の様々な整備推進につきましては、衷心より厚く御礼申し上げます。

九州を南北に縦断する本線は、本市において、九州縦貫自動車道八代ＩＣ、南九州西回り自動車道八代南ＩＣや日奈久ＩＣと接続し、また、九州新幹線新八代駅もほぼ直結することから、県南地域の生活及び経済活動になくてはならない道路です。しかしながら、八代ＩＣから以北の宇城市までは２車線のため、交通混雑により定時性が担保されない課題が生じています。また、平成28年の熊本地震では、市街地東側の山裾を縦断する九州縦貫自動車道と市街地西側の八代海沿いを縦断する県道が被災し、全面通行止めになったことから、本線は大渋滞し災害支援や復旧活動をはじめ、日常生活にも大きな支障が生じました。

本市では、県下最大の貿易港である重要港湾八代港の利用拡大に鋭意取り組んでおり、港の背後圏には、飼料製造企業、製紙、酒造、建設資材等の製造企業が集積するほか、近年では半導体関連資材、木材などの取扱量が増加しており、特に木材輸出額では全国 2 位と急成長を果たしております。さらに、令和５年春から国際クルーズ船寄港が再開し、令和５年度は15回、令和６年度は32回と寄港数及び利用者数が増加傾向にあり、大型バスによる県内観光地への周遊だけでなく、市内を周遊する個人観光客が増えており、インバウンドによる地域経済への好影響も発現しております。

また、TSMC の本県進出による波及効果をねらう 25 ヘクタール規模の県営内陸工業団地の整備が八代市興善寺交差点付近で着手されており、今後 TSMC や県及び本市が覚書を締結した物流関連企業の ESR 等が生み出す新しい産業により、国道３号の当該区間では更なる自動車交通量の増加が見込まれます。

さて、ここ数年は全国各地で、豪雨や台風、地震などの天災が頻発し、本市においても令和２年７月豪雨災害に続き、令和４年９月にも台風第１４号により甚大な被害が生じております。本市には本線や九州縦貫自動車道直下付近に日奈久断層帯が存しており、今後、熊本地震並みの地震発生が懸念され、災害時の多重性・代替性のある広域的な道路の確保が急務となっております。

このようなことから、本市には、平常時も災害時も問わない安定的な物流・人流を確保するための広域道路ネットワークが必要不可欠です。

つきましては、宇城～八代間の機能強化、特に２車線区間の４車線化に向け、一層のご配慮を賜りますよう要望いたします。

令和７年７月

八代市長　中村博生